

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	神戸医療福祉センターにこここハウス「やまぼうし」		
○保護者評価実施期間	2024年12月9日		～ 2025年1月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	2024年11月28日		～ 2024年12月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	適切な支援プログラムの作成	毎月、曜日ごとに内容を記載したお便りの配布をしています。曜日別の児童の発達に応じたプログラム、季節に沿ったプログラム、連続性のあるプログラム等工夫して設定しています。また、プログラム前と後は綿密な打ち合わせを行い、支援に繋がっています。	引き続きプログラム内容を工夫し、適切な支援ができるよう努めていきます。
2	放課後等デイサービス計画の作成	心理検査の結果の確認、保護者に記入して頂いたフェイスシート、アセスメントシートの確認を適宜行っています。また、年に2回、児童のケース会議を行い、職員の共通理解を図ってから作成しています。	現段階で意識して行っている取り組みに加えて、保護者からの情報共有等もさらに行っていきたいと考えます。
3	環境・体制	利用者の年齢や発達に合わせて、手厚い支援が提供できるように必要な人数の職員を配置しています。入室時の準備が自分のできるよう視覚支援を使って構造化したり、必要な物品以外は児童の見えない場所に置いたりするなど、工夫して環境設定をしています。	利用者、保護者が安心して通所できるよう、現段階で意識して行っている取り組みを今後も継続して行います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域に開かれた事業運営	当該施設がしあわせの村内にあるため、地域交流が難しい面があります。	地域の人のとの関わりや社会性を高める経験に繋がるよう、しあわせの村内の緑地課の職員の指導の下、引き続き農園活動を行います。
2	関係機関との連携	現在利用している児童の年齢が障害福祉サービスへ提供する年齢層に至っていません。	保護者からの申し出があれば、他院や学校・園との連携、情報提供ができるよう準備体制を整えます。
3	保護者への説明等	父母の会や兄弟向けのイベントは実施していません。	保護者同士が交流できる機会や保護者勉強会は年に2回開催しています。今後も継続して定期的に行います。